

リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）【指定校】

【取組内容】④ 校務DX 「情報共有」「クラスルームで保護者も含めた情報共有」

【実施内容の具体】

- 1 朝の会で行う健康観察をクロームブックで行う。
- 2 別室登校生徒（SSR教室在籍生徒）の登校状況や、別室での活動状況などの記録を担当した教員がクロームブック内に記入し、教職員の情報共有を図る。
- 3 児童生徒のいじめ・体罰・セクハラに関するアンケートなどをクロームブックで行う。

【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 朝の会の始まる前から、生徒たちは個別に健康観察をクロームブックで行うことが習慣化し、全体の生徒の健康状態の把握と内容の集計が容易にできるようになった。
- 2 別室登校の生徒の活動状況をいつでも閲覧して確認できるようになった。このことで、関係教職員で各生徒に応じた指導について随時協議して組織的な取組につなげることができるようになった。
- 3 アンケート等の取組をクロームブックで行うことで、提出状況の把握や内容の把握を容易に行うことができ、紙媒体よりも容易に対応することができるようになった。

